

中学校 美術

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**、**2** については、マーク式解答用紙に、大問 **3**、**4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**、**2** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 (1)～(8)は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示)に関する内容、(9)は、『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(令和2年3月文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター作成)に関する内容、(10)は、令和3年6月に文部科学省ホームページに公開された「GIGAスクール構想のもとでの各教科等の指導についての参考資料」に関する内容について引用したものである。次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第1 目標(2)」について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

造形的なよさや【①】、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、【②】を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や【③】に対する見方や【④】を深めたりすることができるようにする。

	①	②	③	④
1	面白さ	アイデア	美術文化	考え方
2	美しさ	主題	美術文化	感じ方
3	面白さ	主題	芸術作品	感じ方
4	美しさ	アイデア	芸術作品	考え方

(2)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕
2 内容 A 表現(1)ア(ア)」について、【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。
1～4から一つ選べ。

解答番号は

対象や事象を見つめ感じ取った【①】の特徴や美しさ、【②】などを基に【③】を生み出し、全体と部分との関係などを考え、【④】を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

	①	②	③	④
1	形や色彩	想像したこと	主題	創造的な構成
2	材料など	体験したこと	テーマ	効果的な構図
3	質感や量感	考えたこと	アイデア	創造的な構図
4	形や色彩	経験したこと	主題	効果的な構成

- (3) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕
3 内容の取扱い(1)」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

第1学年では、内容に示す各事項の定着を図ることを基本とし、一年間で全ての内容が学習できるように【 】などについて十分検討すること。

- 1 学校や生徒の実態に応じた弾力的な学習
- 2 育成する資質・能力を効果的に身に付けられる指導計画
- 3 発達の特性を考慮した内容の選択
- 4 一題材に充てる時間数

- (4) 「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容 B 鑑賞(1)ア」では、美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する事項を身に付ける指導について述べられている。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

- ① 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
- ② 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
- ③ 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
- ④ 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | × | ○ | ○ | × |
| 2 | × | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | ○ | × | × | ○ |

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、通知文の名称等や、文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

(5)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(6)」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

障害のある生徒などについては、【 】に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。

- 1 一人一人の状況や発達の特徴
- 2 学習活動を行う場合に生じる困難さ
- 3 一人一人の教育的ニーズ
- 4 健康面や安全面での制約

(6)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(1)」では、〔共通事項〕の指導に当たっての配慮事項が示されている。【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

(1)〔共通事項〕の指導に当たっては、生徒が造形を豊かに捉える【①】をもてるように、以下の内容について配慮すること。

ア〔共通事項〕のアの指導に当たっては、【②】などに着目して、次の事項を【③】理解できるようにすること。

(中略)

イ〔共通事項〕のイの指導に当たっては、【④】などに着目して、次の事項を【③】理解できるようにすること。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|--------|------------|------|------------|
| 1 | 多様な視点 | 全体のイメージや作風 | 直感的に | 造形の要素 |
| 2 | 多様な視点 | 造形の要素 | 実感的に | 全体のイメージや作風 |
| 3 | 多面的な視点 | 形や色彩 | 実感的に | 全体のイメージや作風 |
| 4 | 多面的な視点 | 造形の要素 | 感覚的に | 形や色彩 |

(7)「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(2)」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

各学年の「A表現」の指導に当たっては、主題を生み出すことから表現の確認及び完成に至る全過程を通して、生徒が夢と目標をもち、【 】態度の形成を図るようにすること。

- 1 自分のよさを発見し喜びをもって自己実現を果たしていく
- 2 互いのよさや個性などを認め尊重し合う
- 3 未来へのあこがれなどを思い描き自己挑戦し続ける
- 4 自分のよさや可能性を見だし、楽しく豊かな生活を創造しようとする

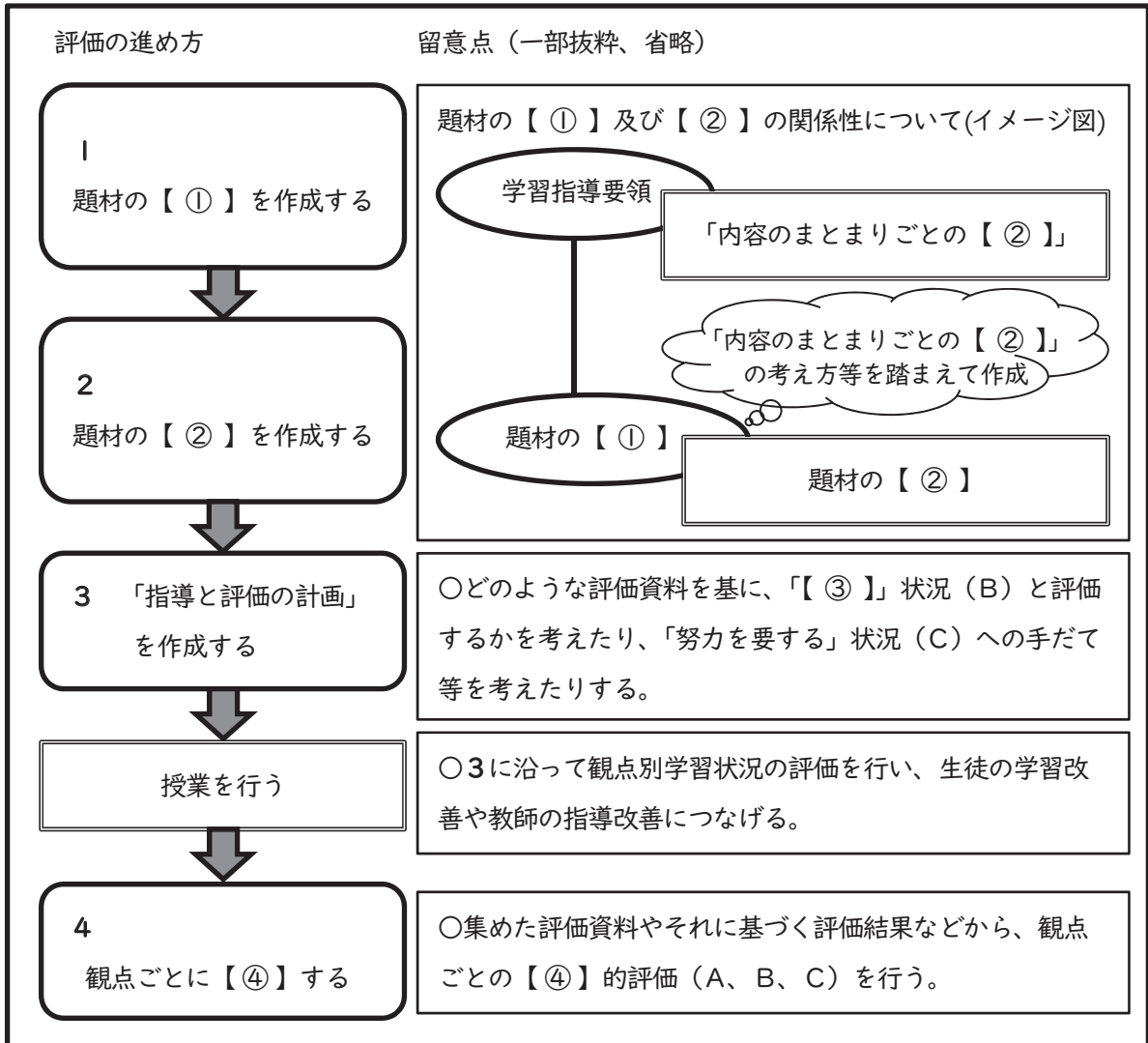
(8)「中学校学習指導要領解説 美術編」における「中学校学習指導要領 第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(7)」に関する解説に記載されている内容について、次の各文のうち誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 生徒一人一人が創意工夫を重ねて生み出した作品にはかけがえのない価値があり、自己や他者の作品などに表れている創造性を尊重する態度を育成することが重要である。
- 2 生徒の作品も有名な作家の作品も、創造された作品は同等に尊重されるものであることを理解させ、加えて、著作権などの知的財産権は、文化・社会の発展を維持する上で重要な役割を担っていることにも気付かせるようにする。
- 3 他人の著作物を活用した生徒作品を学校のウェブサイトなどへ掲載したり、看板やポスターなどを地域に貼ったりする際は、著作者に了解を得る必要はない。
- 4 肖像権については著作権などのように法律で明記された権利ではないが、プライバシーの権利の一つとして裁判例でも定着している権利なので、写真やビデオを用いて人物などを撮影して作品化する場合、相手の了解を得て行うなどの配慮が必要である。

(9) 『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 第3編 第1章」では、題材における学習評価の進め方について、下図のように例示されている。【①】～【④】に入る正しい語句の組合せはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は



	①	②	③	④
1	評価規準	評価基準	おおむね満足できる	形成
2	目標	評価規準	十分満足できる	診断
3	評価規準	評価基準	少し満足できる	分析
4	目標	評価規準	おおむね満足できる	総括

(10) 「G I G Aスクール構想のもとでの各教科等の指導についての参考資料」として、文部科学省ホームページに掲載された資料の中で、「中学校美術科、高等学校芸術科（美術、工芸）、高等学校美術科の指導においてI C Tを活用する際のポイント」について、【 】に入る正しい語句はどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は

美術科、芸術科（美術、工芸）においては、I C Tを活用する学習活動と、実物を見たり、実際に対象に触れたりするなどして感覚で直接感じ取らせる学習活動とを、【 】に応じて吟味し、I C T端末を効果的に用いて指導を行うことが重要である。

- 1 学校のI C T環境
- 2 題材のねらい
- 3 生徒のI C Tスキル
- 4 生徒の発達段階

2 (1)～(6)の問いに答えよ。

(1) 次の作品A～Cに用いられている技法として正しい組合せを1～4から一つ選べ。

解答番号は

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
https://www.moma.org/collection/works/37018?artist_id=1579&page=1&sov_referrer=artist

A

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
https://jmapps.ne.jp/spmoa/det.html?data_id=1990

B

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：
<https://www.guggenheim.org/artwork/3484>

C

- | | A | B | C |
|---|---------|---------|---------|
| 1 | マーブリング | スパッタリング | ドリッピング |
| 2 | デカルコマニー | スパッタリング | フロッタージュ |
| 3 | ドリッピング | マーブリング | デカルコマニー |
| 4 | デカルコマニー | フロッタージュ | ドリッピング |

(2) 次の各文は、木工作品の制作に関するものである。誤っているものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 板材は、木目に平行な側面を木端、木目に直角な側面を木口という。
- 2 板材を紙やすりで研磨する際には、木目に平行に往復させるように磨くのが原則である。
- 3 両刃のこぎりには縦びき刃と横びき刃がついており、木目によって使い分けることができるが、胴付きのこぎりには縦びき刃しかついておらず、使う用途に限られる。
- 4 のこぎりの縦びき刃は、主に木材の木目に沿った方向に切断（木材の繊維を縦断する）するのに適している。

(3) 描画に用いる道具や材料に関して、誤っているものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 丸筆は、穂の毛が丸く束ねられており、膨らんだ穂先に水を含ませると毛先が整い、自由に伸びのある線やタッチが表せる。
- 2 烏口は、レタリングや枠線など均一な太さの線を引くために用いられる描画用具であり、2枚の金属製の刃のすき間にインクなどを注入して使用する。
- 3 透明水彩絵の具は、不透明水彩絵の具よりアラビアゴムが多く含まれており、塗った色に透明感や光沢が感じられる描画材料である。ガッシュは、代表的な透明水彩絵の具である。
- 4 クレヨンには、主として顔料、パラフィン、ろう、油脂材料などの原料を混合、溶解した後、棒状にしたものである。彩色しやすく、透明感のある色彩が表現できる。

(4) 映像メディアの活用に関して、誤っているものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

- 1 カメラで撮影する際に、三脚を使用するとしっかりと固定することができる。三脚の脚はしっかりと開き、脚の一本はレンズの正面になるように立てる。
- 2 写真撮影する際、被写体に光の当たる方向によって、写り方が変わる。順光で撮影すると、被写体に陰が強く出て、メリハリのある描写になるので、立体感や質感を表現するのに向いている。
- 3 ビデオカメラで撮影する際のショットには、基本的にロング、ミディアム、アップの3つのサイズがある。被写体の表情がわかるように撮影したい場合は、アップショットにするのがふさわしい。
- 4 拡張現実（AR）とは、タブレット端末などの画面上で、コンピュータグラフィックスと現実の風景を重ねる技術のことである。絵画作品や絵本にタブレット端末などのカメラをかざすと、画面上で絵画や挿絵が動き出すなど、鑑賞の学習で活用することができる。

(5) 次の作品や建造物D～Gの作者名の組合せとして適切なものを1～4から一つ選べ。

解答番号は



D



E



F



G

D

E

F

G

- | | | | |
|-----------|------------|---------|------------|
| 1 ヤノベケンジ | 淀川テクニック | 新宮晋 | フンデルトヴァッサー |
| 2 淀川テクニック | 村野藤吾 | 名和晃平 | イサム・ノグチ |
| 3 名和晃平 | フンデルトヴァッサー | イサム・ノグチ | ヤノベケンジ |
| 4 ヤノベケンジ | 新宮晋 | 村野藤吾 | フンデルトヴァッサー |

(6) 次の作品Hについて、【①】～【③】に入る語句の組合せとして正しいものを1～4から一つ選べ。

解答番号は

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：五島美術館 <https://www.gotoh-museum.or.jp/collection/genji/>

H

作品Hは、【①】として描かれた【②】時代の作品である。この作品に用いられている技法のうち、屋内の様子を描くために屋根や壁などを省略する方法を【③】という。

- | | | |
|-------|----|------|
| ① | ② | ③ |
| 1 絵巻物 | 平安 | 吹抜屋台 |
| 2 屏風絵 | 室町 | 鳥瞰図 |
| 3 錦絵 | 平安 | 吹抜屋台 |
| 4 絵巻物 | 室町 | 透視図法 |

3 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次の原始美術Aは、フランスのある地方の洞窟で発見された約2万年前～1万年前の壁画であり、黄土色の地に黒の彩色でスケッチ風に描かれている。洞窟のある地名を答えよ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Lascaux_painting.jpg
Prof saxx

A

(2) 次の文章の空欄ア～エに当てはまる語句を答えよ。

壁画Bは、頭部や下半身と上半身を描く際、異なる視点で捉えられており、文明における美術の代表的な特徴である。文明のシュメール美術や、図Cのように、美術の幾何学様式時代の出土品にも、頭部、胴部、下半身の各部を幾何学的に捉え、再構築する表現がみられる。これら原始美術は20世紀初頭、作品Dの作者であるにも影響を与えた。

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：西洋美術史
高階秀爾著
美術出版社
18ページ I-22

B

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：オーストリア科学アカデミー
オーストリア考古学研究所
<https://www.oeaw.ac.at/en/oeai/research/historical-archaeology/historical-archaeology-in-the-mediterranean/death-and-burial-between-the-aegean-and-the-balkans>

C

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：西洋美術史
高階秀爾著
美術出版社
161ページ X-15

D

(3) 次の文章の空欄オに当てはまる文を答えよ。

作品Eの作者であるフランス人画家、ジャン・デュビュッフェは、幼児や障がい者、原始人などの造形作品に強い関心を示し、「にも芸術の価値がある」として、「アール・ブリュット（生の芸術）」を提唱した。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：西洋美術史
高階秀爾著 美術出版社
173ページ XI-6

E

- 4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕」をふまえ、以下に示した<題材に関する情報>を読み、(1)～(3)の問いに答えよ。

<題材に関する情報>

題材名	内容のまとめり
わたしたちの町を守る 防災ピクトグラム	目的や機能などを考えた表現「A表現」(1)イ(1)、〔共通事項〕及び、作品や美術文化などの鑑賞「B鑑賞」、〔共通事項〕
本題材を設定した理由・背景	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、海岸から近い距離にある。また、校舎裏には山があり、自然豊かな地域である。 ・校区内には郊外型の大型ショッピングモールや空港があり、海外からの観光客も多く訪れる。 ・地域との交流に力をいれており、学校の体育館を使って地域住民との合同防災訓練を実施するなど、地域ぐるみで防災意識を高めようとしている。 ・美術科では、地域に関わるすべての人々に対して、防災についての情報がわかりやすく伝わるようなピクトグラムを制作することにした。完成した作品は地域内のさまざまな場所に貼り、実際に活用する予定である。 	

- (1) 上記の「内容のまとめり」の「A 表現」(1)イ(1)及び「本題材を設定した理由・背景」をふまえて、本題材における「思考力・判断力・表現力等」に関する『評価規準』を以下のように作成したい。下の枠内の空欄【1】に具体的に記せ。

【1】

を総合的に考え、表現の構想を練っている。

- (2) 全8時間で次ページのように『指導計画』を作成した。
導入では鑑賞を行い、生徒が主体的に主題を生み出すことができるようにしたい。〔共通事項〕の視点をもたせて、学習のねらい及び学習活動を空欄【2】に具体的に記せ。
- (3) 「2. 発想や構想」の時間において、主題を生み出し、表現の構想を練ることが難しい生徒に対し、具体的にどのような手立てを講じるか。「指導上の留意点等」の空欄【3】及び【4】に具体的に記せ。

『指導計画』

	学習のねらい・学習活動	指導上の留意点等
導入	<p>1. 鑑賞（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●見方・感じ方を深める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【2】</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムの表現の意図と創造的な工夫などについて考えているかを見取り、見方や感じ方が深まらない生徒に対して〔共通事項〕の視点をもたせて作品を鑑賞させるなどの手立てを講じる。
展開1	<p>2. 発想や構想（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主題を生み出す。 ・鑑賞の学習で学んだことを生かしながら、伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出す。 ●主題をもとに構想を練る。 ・創出した主題をもとに、形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える相手や施設、場所などのイメージから主題を生み出せているかどうかを見取り、主題が生み出せていない生徒に対して、 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【3】</div> <p>などの手立てを講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を基に形などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っているかどうかを見取り、指導する。構想が練られていない生徒に対して <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【4】</div> <p>などの手立てを講じる。</p>
展開2	<p>3. 制作（4時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●意図に応じて表現方法を創意工夫して見通しをもって表す。 ・2色の色画用紙を選び、図案に合わせて切り、制作したピクトグラムはラミネート加工する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具は、鉛筆、定規、ハサミ、カッター、カッターマット、コンパスのみとする。加工した2色の色画用紙をフィルムに挟んでラミネート加工する。伝える目的にあわせて、全体のイメージを考え、形や色などを工夫し、試行錯誤しながら取り組めるよう指導する。
まとめ	<p>4. 鑑賞（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鑑賞し、見方や感じ方を深める。 ・生徒が作品について発表する。（学習後、地域に展示する。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容が表現されているか、発表を通して客観的に整理させる。